



◆沖縄へ行ってきました! 修学旅行! ◆

◎生徒感想文 Ⅱ

修学旅行を終えて、学校全体で行動する難しさ、そして、みんなで楽しむことができるうれしさを学びました。実際に壕や、ひめゆりの塔に行ってみて、調べていたことよりもはるかにひどい状況だったのだと知りました。とても悲しくなりました。でも、クラス体験で、沖縄の海に入ったり、おいしい物をいっぱい食べたりとても楽しめました。何もかもが良い思い出になりました。とても楽しかったです。



今回の修学旅行は私たちの人生の中で、かけがえのない思い出になったのではないかと思います。戦争の悲惨さを知り、この悲劇を繰り返してはならないと強く思いました。また、沖縄ならではの体験をし、クラス間の絆がさらに深まりました。天気は生憎の雨や曇りでしたが、何本もの虹を見ることができました。修学旅行で学んだことも今後の高校生活に生かしていきたいと思いません。



沖縄へ修学旅行に行き、ガマや戦争を体験した人の話を聞いて、戦争がどれほど酷く、悲しいものか、知ることができて良かったと思いました。二日目には、クラス別で私たちは、バナナボートとシュノーケリングの体験をして、海がきれいで和歌山の海では見れない魚を見ることができました。



◆沖縄へ行ってきました! 修学旅行! ◆



2月11日、生徒会役員6名、放送演劇部3名の生徒が、広川町役場にて行われた、津波避難訓練時に実施する臨時災害

放送局設置および運営訓練に参加しました。和歌山県情報化推進協議会、広川町と本校の協働により、FM機材を用いてこの訓練を行いました。参加生徒は、本校で2回の事前研修を受講してから、この日の訓練に臨みました。訓練内容は、役場の担当職員や消防隊員から読み上げられる情報をすばやく整理し、また必要と思われる情報を聞き取りして、被災者達にわかりやすく伝えるというものでした。掲示板に貼る速報の作成と同時進行で、放送原稿にまとめ、実際に放送しました。放送する直前は、非常に緊張していた生徒たちでしたが、全員堂々としゃべることができました。生徒達の感想は、「短い時間で様々な人に向けて、正確な情報を伝えるため、整理することの難しさを感じた。」「この経験を今後の生活にも生かしていきたい。」「災害に備えて考えることがたくさん見えてきた。」などでした。

